



日本獣医師会学会関係情報



日本産業動物獣医学会・日本小動物獣医学会・日本獣医公衆衛生学会

----- 日本獣医師会学会からのお知らせ -----

第43回 日本獣医師会獣医学術学会年次大会 (令和7年度) の開催について

令和7年度の日本獣医師会獣医学術学会年次大会につきましては、令和8年4月21日(火)～24日(金)の4日間、東京国際フォーラムにて開催する第41回世界獣医師会大会2026(東京大会)の会期中に合同開催されます。本号では特別企画の概要をお知らせいたします。

地区学会長賞受賞講演

日本産業動物獣医学会

	講演内容	氏名	所属
4月21日(火) 13:10～17:00 第11会場 (G701)			
座長：佐藤真澄 (日生研株)			
産地区ー1	子豚への豚熱ワクチン接種適期推定モデルの再検討 ～階層ベイズモデルによる農場適応型モデルの構築～	小林憲一郎	長野県畜産試験場
産地区ー2	妊娠豚への豚熱ワクチン接種時期と移行抗体量の関係性	野口 倫子	麻布大学
産地区ー3	移行抗体を保有する哺乳豚への豚熱ワクチン接種の有効性評価	下田 智彦	三重県農林水産部
産地区ー4	豚繁殖・呼吸障害症候群ワクチン非接種農場における欧州型ワクチン由来株検出事例	佐藤 朝咲	茨城県県西家畜保健衛生所
産地区ー5	肉用鶏農場の Enterococcus cecorum 感染症対策の検討	才力 慎也	徳島県西部家畜保健衛生所
座長：猪熊 壽 (東京大学)			
産地区ー6	国内で初めて確認されたあひるのロイコトゾーン症	上垣 華穂	北海道石狩家畜保健衛生所
産地区ー7	十勝管内一酪農場における牛伝染性リンパ腫清浄化達成までの取り組み	宮澤 国男	北海道十勝家畜保健衛生所
産地区ー8	牛伝染性リンパ腫対策の進展により顕在化した清浄性確認と維持の課題と対策の検討	大橋 郁代	山形県置賜家畜保健衛生所
産地区ー9	ランピースキン病の抗体検査方法に関する検証	佐藤 俊介	福岡県中央家畜保健衛生所
座長：佐藤 繁 (岩手大学名誉教授)			
産地区ー10	ESBL を獲得した Salmonella Montevideo の遺伝子学的解析	山崎 健太	鳥取県倉吉家畜保健衛生所
産地区ー11	牛舎環境材料による牛鼻腔内の呼吸器病関連病原体推定方法の設計	五嶋 祐介	岩手県中央家畜保健衛生所
産地区ー12	北海道内で確定診断された乳頭糞線虫による乳用種育成牛の連続突然死	池田 哲平	BRAST Livestock Clinic
産地区ー13	膣壁刺激を応用した牛の新たな分娩誘因法	中山 真	奈良県農畜産課
座長：三角一浩 (鹿児島大学)			
産地区ー14	末節骨底面角度の超音波測定を用いた牛の蹄疾患に対する治療効果と予後に関する追跡研究	大下 克史	おおした大動物診療所
産地区ー15	牛臨床例における MBP-TIVA と XBP-TIVA による全身麻酔の有用性	矢吹悠久美	NOSAI 北海道日高家畜高度医療センター
産地区ー16	マルボフロキサシンおよび抗バイオフィルム剤の馬感染性子宮内膜炎由来大腸菌に対する薬剤感受性とバイオフィルム形成阻害効果ならびに撲滅効果	帆保 誠二	鹿児島大学共同獣医学部
産地区ー17	EOTRH (Equine Odontoclastic Tooth Resorption and Hypercementosis) を発症したポニーの1症例	敷地 光盛	エルムホースクリニック

日本小動物獣医学会

	講演内容	氏名	所属
4月21日(火) 13:10~17:00 第9会場 (G409)			
座長：村田佳輝 (むらた動物病院・東京農工大学)			
小地区—1	Nseriaspp.spp 感染症と生前に確定診断し治療しえた猫の1例	佐々木崇文	日本動物高度医療センター
小地区—2	当院で治療した SFTS の猫 21 例の回顧的研究	多田 勇太	山陽動物医療センター
小地区—3	中枢神経型猫伝染性腹膜炎による二次性閉塞性水頭症に脳室—腹腔シャント術を実施した猫の1例	小路 祐樹	山陽動物医療センター
座長：平尾秀博 (日本動物高度医療センター)			
小地区—4	肺高血圧症を併発した粘液腫瘍変性僧帽弁疾患の犬に対する僧帽弁形成術の短期治療成績	川元 誠	北海道大学大学院獣医学研究院付属動物病院
小地区—5	無輸血下に人工心肺を用いて外科的閉鎖を実施した猫の心室中隔欠損症の1例	藤岡 崇伯	ゆめさき動物病院
小地区—6	CT および病理組織学的検査にて先天性肺気道奇形と診断した犬2例	溝口 央	高橋ペットクリニック
座長：福島 潮 (湘南鎌倉動物病院 動物眼科センター)			
小地区—7	先天性門脈体循環シャント結紮後発作症候群 (PANS) を呈した犬における連日頭部 MRI 検査による経時的評価	小山 英志	協同組合仙台獣医師会総合動物病院
小地区—8	犬のてんかん重積に対する Point-of-Care 脳波検査の臨床的有用性の検討	長谷川祐基	KyotoAR 動物高度医療センター
小地区—9	経テント後頭側方アプローチで中脳に到達し摘出を行ったグリオーマの犬の1例	長井 新	鳥城ペットクリニック
小地区—10	隅角インプラント手術を実施した犬の緑内障 128 眼の視覚維持に関する検討	瀧本 良幸	ナディア動物クリニック・動物眼科
座長：岡野昇三 (北里大学)			
小地区—11	猫の骨形成不全症の原因遺伝子変異の分子生物学的検索	鷹栖 雅峰	那須野ヶ原アニマルクリニック
小地区—12	膝蓋骨内方脱臼の治療として大腿骨と脛骨に矯正骨切り術を実施したトイ・プードルの1例	原田 恭治	日本獣医生命科学大学
小地区—13	小型犬における乳歯残存と乳歯歯根吸収の特徴	網本 宏和	アミカペットクリニック
座長：滝口満喜 (北海道大学)			
小地区—14	猫の回盲部腺癌においてセルカニバリズムが認められた1例	溝口 堇紫	鹿児島大学附属動物病院
小地区—15	プロテアソーム阻害薬ボルテゾミブを用いて治療した非皮膚型髄外性形質細胞腫の猫の1例	寺内 光彦	KyotoAR 動物高度医療センター
小地区—16	後大静脈内に浸潤した褐色細胞腫の犬の一例	須崎 信茂	すざき動物病院
座長：佐藤れえ子 (岩手大学名誉教授)			
小地区—17	慢性骨髄性白血病の犬におけるヒドロキシウレアの有効性と副作用：寛解と再発を繰り返した長期生存例からの考察	永田 矩之	岐阜大学
小地区—18	凝固亢進を疑う犬におけるアンチトロンビン活性の予後予測指標としての有用性	横田 峻也	湯木どうぶつ病院
小地区—19	北海道東部の飼いイヌへの狂犬病ワクチン接種による抗体保有率から見えてきた課題	山田 恭嗣	やまだ動物病院

日本獣医公衆衛生学会

	講演内容	氏名	所属
4月21日(火) 13:10~17:00 第10会場 (G602)			
座長：苅和宏明 (北海道大学)			
公地区-1	茨城県南地域におけるマダニの活動状況および保有する病原体の網羅的解析	大澤 修一	茨城県衛生研究所
公地区-2	富山県の伴侶動物における重症熱性血小板減少症候群ウイルス感染状況調査	佐賀由美子	富山県衛生研究所ウイルス部
公地区-3	愛媛県における犬, 猫, 鹿のオズウイルス抗体保有状況調査並びに植生マダニからオズウイルス分離の試み	木村 俊也	愛媛県食肉衛生検査センター
座長：大屋賢司 (国立医薬品食品衛生研究所)			
公地区-4	サルモネラ属菌の分離培養方法の検証について	北村 洸人	岩手県食肉衛生検査所
公地区-5	Propidium monoazide (PMA) を用いたデジタル PCR 法による鶏肉からの生きた Campylobacter 属菌定量法の検討	岡田 彩加	岐阜大学共同獣医学部
座長：猪島康雄 (岐阜大学)			
公地区-6	ウシ農場で発生した腸管出血性大腸菌感染症—子牛の保菌調査とゲノム解析—	柿田 徹也	沖縄県衛生研究所
公地区-7	岡山市内のと畜場に搬入された豚の Corynebacterium ulcerans 感染状況調査	直原 良子	岡山市食肉衛生検査所
座長：森田幸雄 (麻布大学)			
公地区-8	と畜検査で確認された牛の 2,8-ジヒドロキシアデニン沈着—遺伝的素因の検討	鈴木 省吾	北海道帯広食肉衛生検査所
公地区-9	フードディフェンスに有用な農薬中毒検査キットによるシアノホス混入ジュースの簡易検出法	平田祥太郎	大阪健康安全基盤研究所
公地区-10	広島県内で採取された海水およびかきの薬剤耐性菌保有状況調査	東久保 唯	広島県立総合技術研究所保健環境センター

「獣医学術奨励賞」受賞者記念講演

日本産業動物獣医学会

	講演内容	氏名	所属
4月21日(火) 17:00~17:30 第11会場 (G701)			
	成牛のヨーネ菌感染/再感染における感染初期応答の解析	泉 一宏	北海道十勝家畜保健衛生所

日本小動物獣医学会

4月21日(火) 17:00~17:30 第9会場 (G409)			
	デグーの口腔内処置を可能にするアルファキサロンを用いた皮下注射麻酔法	坂本 匠威	サニー動物病院

日本獣医公衆衛生学会

4月21日(火) 17:00~17:30 第10会場 (G602)			
	道内産めん羊における志賀毒素産生性大腸菌及びサルモネラ属菌の保有状況	稲田 和也	北海道オホーツク総合振興局保健環境部北見地域保健室食肉検査課 食肉検査係 専門員

特別企画 (令和8年1月23日 現在)

日本産業動物獣医学会

シンポジウム「豚群における繁殖管理、衛生管理と AMR 対策」

4月22日(水) 9:00～12:00 第11会場 (G701)

座長：伊藤 貢 (あかばね動物クリニック), 佐藤真澄 (日生研株)

	講演内容	氏名	所属
1	豚群における繁殖管理	武田 浩輝	(有)アークベテリナリーサービス
2	養豚場における衛生管理の実際	高橋佐和子	高橋とんとん診療所
3	AMR 対策の実際 —国際動向と日本の課題, そして現場からのアプローチ	伊藤 貢	あかばね動物クリニック
4	繁殖・衛生管理指導の実際	渡部 佑悟	FAITES

豚農場管理認定獣医師；動物種プログラムの d) e) に該当

シンポジウム「乳牛群における繁殖管理と生産支援」

4月22日(水) 13:00～17:00 第11会場 (G701)

座長：北原 豪 (宮崎大学), 猪熊 壽 (東京大学)

	講演内容	氏名	所属
1	乳牛群における生産支援と繁殖管理	北原 豪	宮崎大学
2	疾病抵抗性の遺伝的能力評価	馬場 俊見	(一社)日本ホルスタイン登録協会北海道支局
3	妊娠率の最適化から, 妊娠の配分設計へ	奥 啓輔	(株)トータルハードマネージメントサービス
4	ET 技術を活用した生産支援の実際	森重 大作	(株)渥美牛群管理サービス

乳牛農場管理認定獣医師；動物種プログラムの a) b) c) に該当

シンポジウム「肉牛群における呼吸器疾患対策」

4月23日(木) 9:00～12:00 第11会場 (G701)

座長：乙丸孝之介 (鹿児島大学), 三角一浩 (鹿児島大学)

	講演内容	氏名	所属
1	肉牛群における呼吸器疾患対策 (総論)	乙丸孝之介	鹿児島大学
2	超音波画像診断	前田 洋佑	北里大学
3	超音波画像診断実施上の課題	叶 有斗	鹿児島県農業共済組合
4	治療と予防対策 (ワクチネーション)	乙丸孝之介	鹿児島大学

肉牛農場管理認定獣医師；動物種プログラムの a) e) に該当

日本小動物獣医学会

シンポジウム「チーム獣医療—肥満の動物を考える」

4月22日(水) 9:00～12:00 第9会場 (G409)

座長：佐藤れえ子 (岩手大学名誉教授)

	講演内容	氏名	所属
1	チーム獣医療の現在地	山下真理子	(一社)日本愛玩動物看護師会
2	肥満の獣医学—獣医師の立場から—	石岡 克己	(一社)日本動物看護学会
3	減量指導—愛玩動物看護師の立場から—	小田 民美	(一社)日本動物看護学会

教育講演「失敗しない外科手術シリーズ 前十字靭帯断裂」

4月22日(水) 13:00～14:30 第9会場 (G409)

座長：岡野昇三 (北里大学)

	講演内容	氏名	所属
	ここだけはおさえておきたい 診断・治療・術後管理	藤田 幸弘	麻布大学

シンポジウム「動物の口腔内黒色腫 (メラノーマ) の治療を考える」

4月22日(水) 15:00～17:00 第9会場 (G409)

座長：野口 俊助 (日本動物高度医療センター), 高橋 雅 (鹿児島大学)

	講演内容	氏名	所属
1	外科療法	中川 貴之	東京大学
2	犬の口腔内メラノーマに対する化学療法	古家 優	大阪公立大学
3	免疫療法	水野 拓也	山口大学
4	犬の口腔内メラノーマに対する放射線治療	和田 悠佑	日本動物高度医療センター

シンポジウム「人獣共通感染症」—病院スタッフと飼い主を感染症から守るためにはどうすれば良いか?—

1 「SFTS シンポジウム」—増加する動物病院スタッフの感染・飼い主の感染を防ぐには—

4月23日(木) 9:00～11:50 第9会場 (G409)

座長：前田 健 (国立感染症研究所), 村田 佳輝 (むらた動物病院・東京農工大学)

	講演内容	氏名	所属
1	SFTS の実態と今後を考える	前田 健	国立感染症研究所
2	感染性物質 (SFTS を疑う材料) の輸送方法	河合 康洋	国立感染症研究所
3	流行地でのヒト感染の実態と取り組み	山中 篤志	宮崎県立宮崎病院
4	猫から自身への SFTSV 感染及び当院の犬猫発症例について	松本 泰和	益田ペットクリニック
5	流行地での動物感染現場での対応と今後を考える	白永 伸行	シラナガ動物病院
6	討 論		

シンポジウム「人獣共通感染症」—病院スタッフと飼い主を感染症から守るためにはどうすれば良いか?—

2 「レプトスピラ症シンポジウム」—我が国で増加しているレプトスピラ症の今後を考える—

4月23日(木) 13:00~15:00 第9会場 (G409)

座長: 小泉 信夫 (国立感染症研究所)

	講演内容	氏名	所属
1	ヒトのレプトスピラ症	小泉 信夫	国立感染症研究所
2	レプトスピラ症の多発地域である沖縄県における、 犬レプトスピラ症の現状	土城 勝彦	たまよせ動物病院
3	レプトスピラ症の検査とワクチンの今後	栗田 吾郎	北里大学大村智記念研究所
4	討 論		

3 「身近で危険な人獣共通感染症シンポジウム」—感染症から身を守るには—

4月23日(木) 15:10~17:00 第9会場 (G409)

座長: 鈴木 道雄 (国立感染症研究所)

	講演内容	氏名	所属
1	危険な咬傷・接触感染症の実態・対策	鈴木 道雄	国立感染症研究所
2	危険なクラミジア属感染症の実態	オブライエン 悠木子	東京農工大学
3	獣医病理学の観点から懸念される人獣共通感染症	宇根 有美	(一社)どうぶつ疾病研究支援協会
4	討 論		

シンポジウム「診断から手術, そして視覚の回復へ—獣医眼科の進化形」

4月24日(金) 9:00~12:00 第9会場 (G409)

座長: 福島 潮 (湘南鎌倉動物病院 動物眼科センター)

	講演内容	氏名	所属
1	白内障 —水晶体破囊およびチン小帯脆弱の 外科的マネージメント	小林 義崇	東京動物眼科醫院
2	緑内障 —適切な眼圧コントロールのための 外科治療の導入	太田 充治	動物眼科センター
3	網膜剥離 —視覚を守るための外科的チャレンジ	梅田 裕祥	横浜どうぶつ眼科
4	眼科手術の成否を決めるのは診断か器具か? 診断技術と手術装置の進化	福島 潮	湘南鎌倉動物病院 動物眼科センター
5	総合討論・総合質疑		

日本獣医公衆衛生学会

教育講演「忘れないで！ 狂犬病」

4月21日(火) 13:00～15:00 第10会場 (G602)

座長：猪島 康雄 (岐阜大学)

	講演内容	氏名	所属
1	留学中の動物咬傷と狂犬病予防 —体験を通して学んだワクチン接種の重要性	オブライエン 悠木子	東京農工大学
2	宮崎大学が実施する自治体公衆衛生獣医師等を対象とした狂犬病診断研修会の紹介	山田健太郎	宮崎大学

シンポジウム「注目されつつある食中毒の病因物質」

4月22日(水) 9:00～12:00 第10会場 (G602)

座長：大屋 賢司 (国立医薬品食品衛生研究所), 壁谷 英則 (日本大学)

	講演内容	氏名	所属
1	非定型大腸菌による感染症	伊豫田 淳	国立感染症研究所
2	リステリア・モノサイトゲネス	岡田由美子	国立医薬品食品衛生研究所
3	<i>Staphylococcus argenteus</i>	若林 友騎	大阪健康安全基盤研究所
4	注目されつつある食中毒の病因物質サポウイルス	岡 智一郎	国立医薬品食品衛生研究所
5	住肉胞子虫	山崎 朗子	宮崎大学
6	総合討論		

シンポジウム「牛肉輸出から見えてきたもの」

4月22日(水) 13:00～16:00 第10会場 (G602)

座長：森田 幸雄 (麻布大学)

	講演内容	氏名	所属
1	日本の畜産物の輸出戦略	藤野 哲也	(一社)日本畜産物輸出促進協会
2	食肉の輸出／輸入要件の整備と国内の衛生対策の向上	道野 英司	(公社)日本食品衛生協会
3	対米・対EU牛肉輸出施設での衛生管理等の実施状況	川久 通隆	和牛マスター(株)
4	食肉処理施設の衛生管理における遺伝子技術の活用	菊池 貴子	スターゼン(株)
5	総合討論		

シンポジウム「ヒトに密接に関与する野生鳥獣の現状と課題」

4月23日(木) 9:00～12:00 第10会場 (G602)

座長：石岡 大成 (高崎健康福祉大学)

	講演内容	氏名	所属
1	わが国における野生鳥獣による被害状況	伊藤 麻子	農林水産省 農村振興局 農村対策部 鳥獣対策・農村環境課 鳥獣対策室
2	野生鳥獣の捕獲, 解体に係わる狩猟の実際	高柳 盛芳	群馬県猟友会
3	ダニ媒介感染症の実態および感染予防	貞升 健志	東京都健康安全研究センター
4	ジビエを介した食中毒事例および対策	森吉 美樹	厚生労働省 健康・生活衛生局 食品監視安全課
5	総合討論		